

令和7年中における特殊詐欺等の情勢について

※ 令和6年中の数値は確定値、令和7年中は暫定値、各数値の増減は前年同期比を示す。

【 特殊詐欺の特徴 】

- ・ 特殊詐欺の認知件数と被害額ともに、統計を開始した平成16年以降で過去最多
- ・ ニセ警察詐欺の認知件数と被害額が急増
- ・ インターネットバンキング利用による被害が急増
- ・ 現役世代の被害者の割合が急増
- ・ 認知件数・相談件数は増加しているが、自己看破も増加
- ・ 検挙件数・検挙人員の増加

【 SNS型投資・ロマンス詐欺の特徴 】

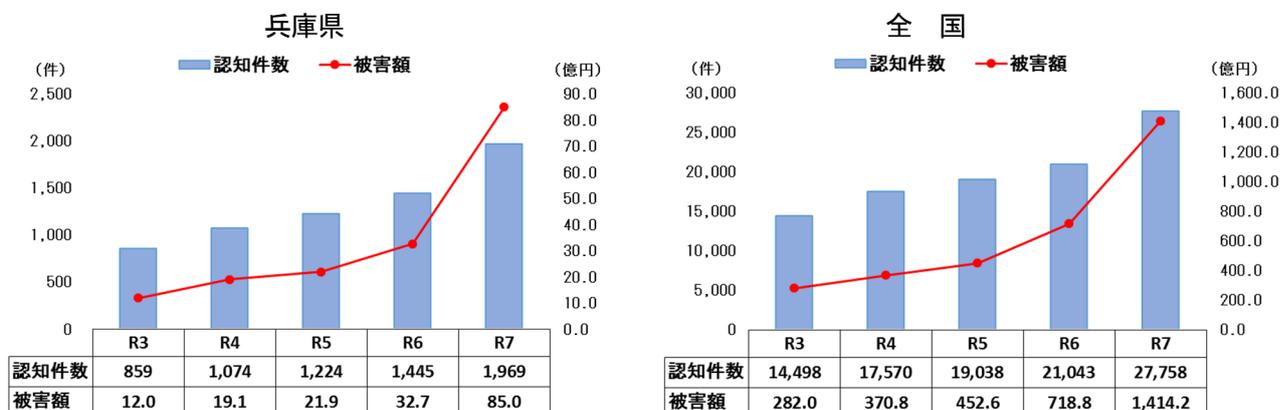
- ・ SNS型投資・ロマンス詐欺の認知件数と被害額の急増
- ・ 特に、SNS型投資詐欺の増加が顕著
- ・ 様々なSNSで接触後、LINEに誘導される割合が大半を占める
- ・ 検挙件数・検挙人員の増加

1 特殊詐欺の認知状況

(1) 情勢全般

- 令和7年中における特殊詐欺の認知件数は1,969件（+524件）、被害額は約85億円（+約52億3,000万円）
- 1件当たりの被害額は約432万円で前年同期と比較すると約212万円増加
- 手口別の認知件数と被害額では、オレオレ詐欺が大幅に増加
- 交付形態別の被害割合をみると、特にインターネットバンキング利用による被害額が大幅に増加

図表1 特殊詐欺の認知件数・被害額の推移（全国との比較）



認知件数

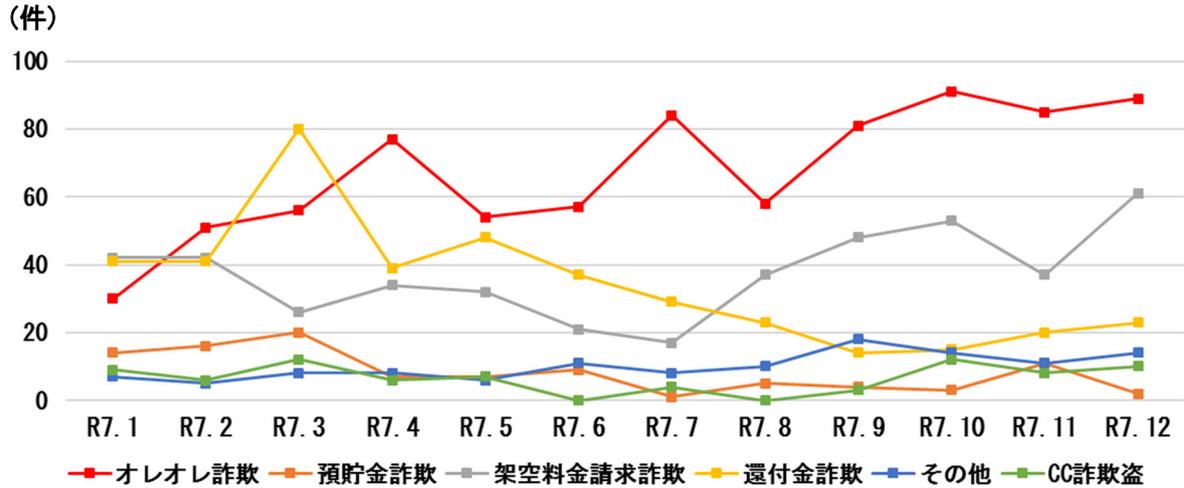
	R3	R4	R5	R6	R7	増減	増減率
兵庫県	859	1,074	1,224	1,445	1,969	524	36.3%
全国	14,498	17,570	19,038	21,043	27,758	6,715	31.9%
割合	5.9%	6.1%	6.4%	6.9%	7.1%		

被害額

(単位：億円)

	R3	R4	R5	R6	R7	増減	増減率
兵庫県	12.0	19.1	21.9	32.7	85.0	52.3	159.7%
全国	282.0	370.8	452.6	718.8	1,414.2	695.4	96.7%
割合	4.2%	5.1%	4.8%	4.6%	6.0%		

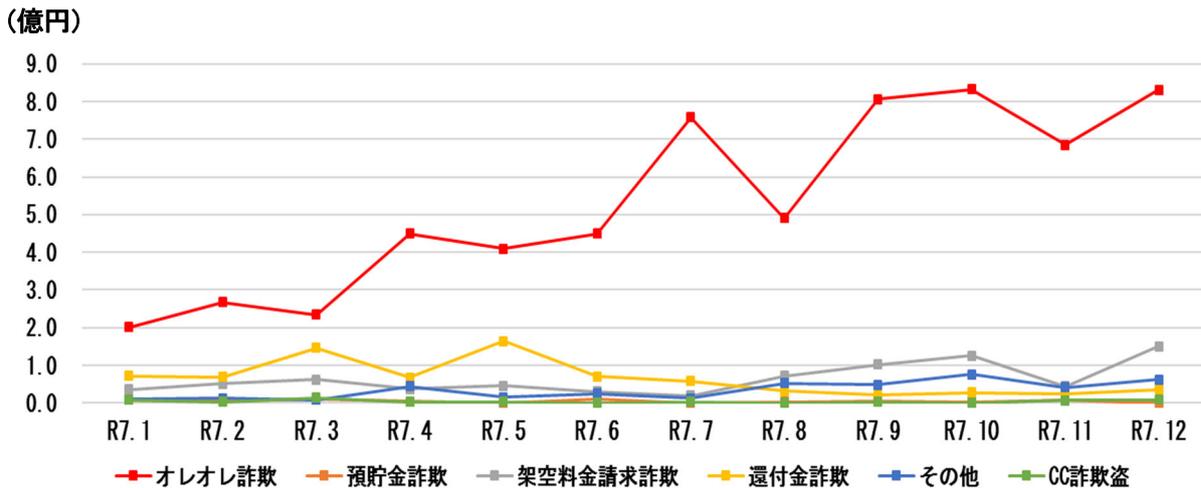
図表2 認知件数の推移（類型別）



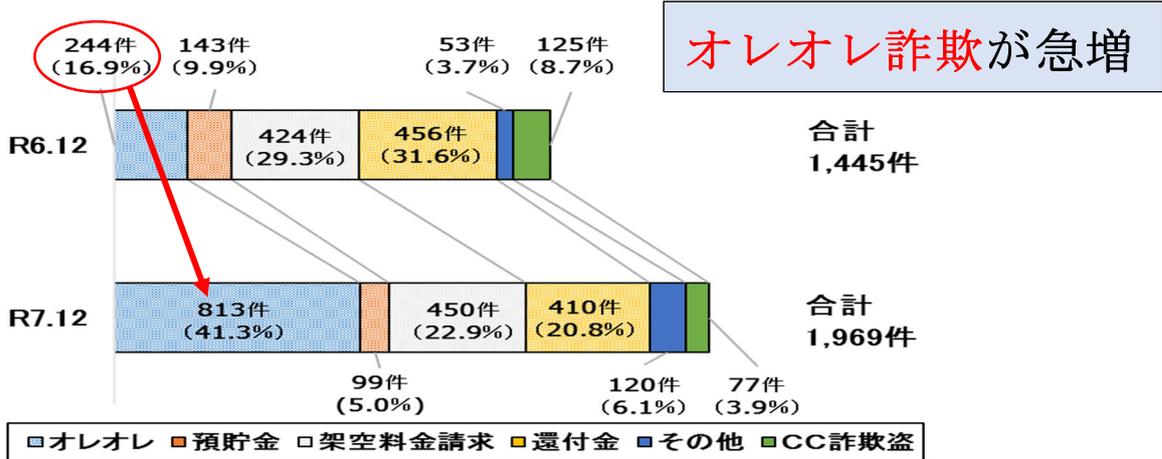
※ CC詐欺盗・・・キャッシュカード詐欺盗

オレオレ詐欺の認知件数・被害額が高水準で推移

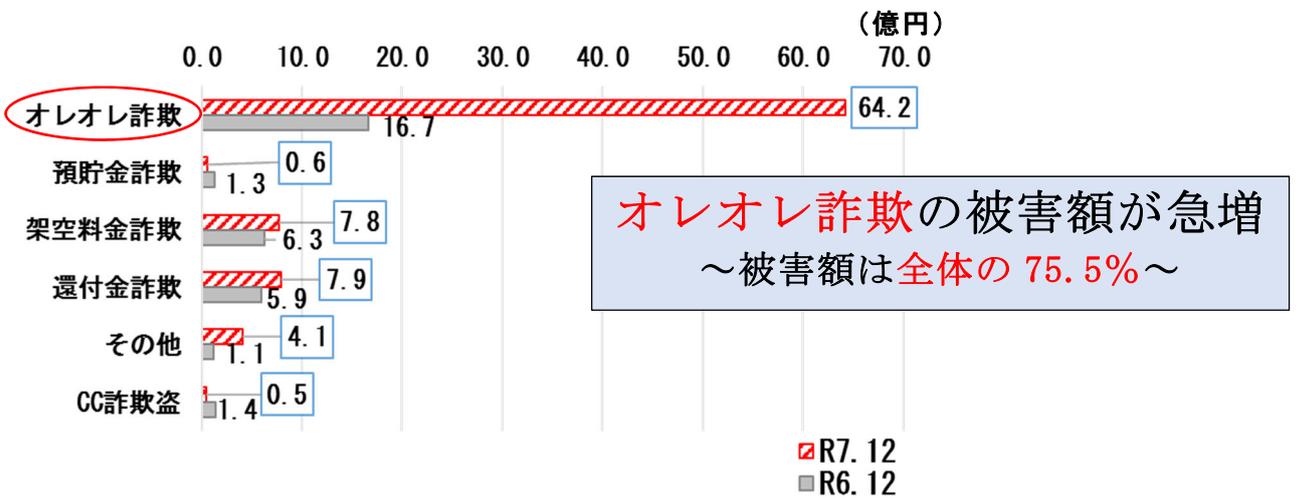
図表3 被害額の推移（類型別）



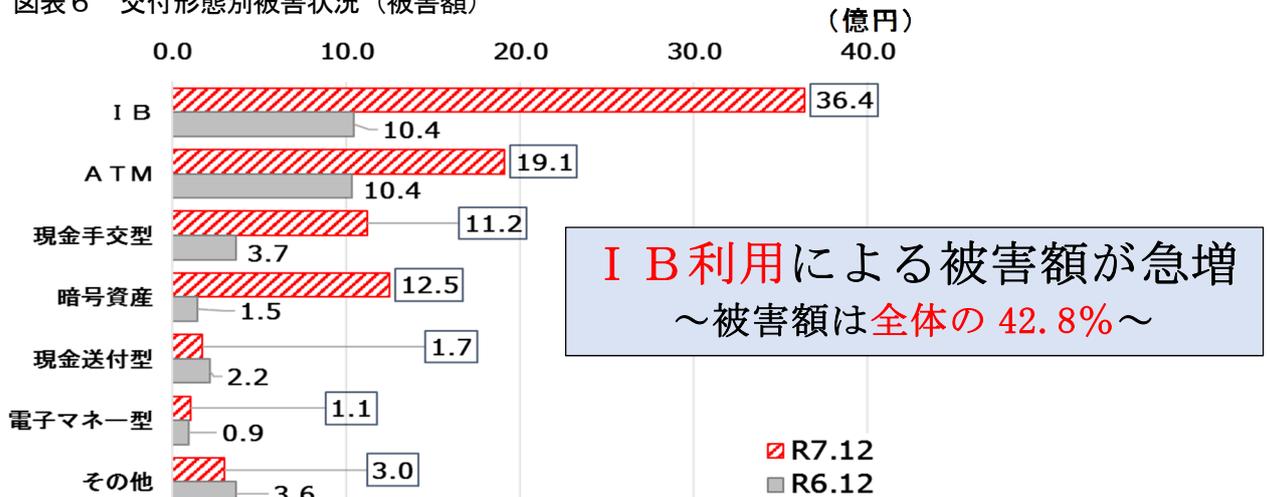
図表4 手口別被害状況（認知件数）



図表5 手口別被害状況（被害額）

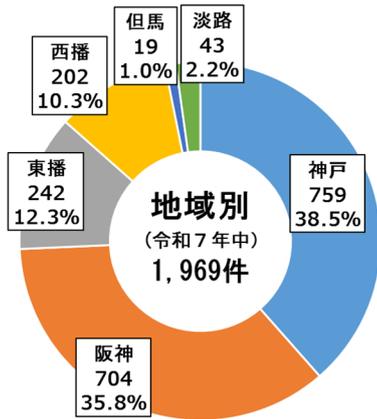


図表6 交付形態別被害状況（被害額）



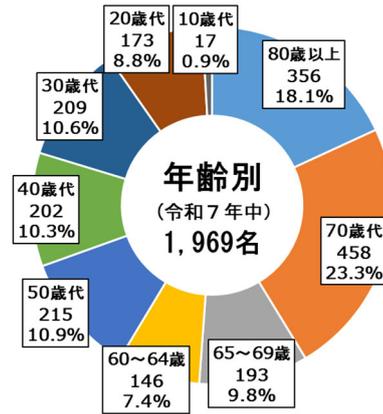
※ I B・・・インターネットバンキング

図表7 地域別の割合



神戸・阪神地域が全体の74.3%

図表8 年齢別の割合

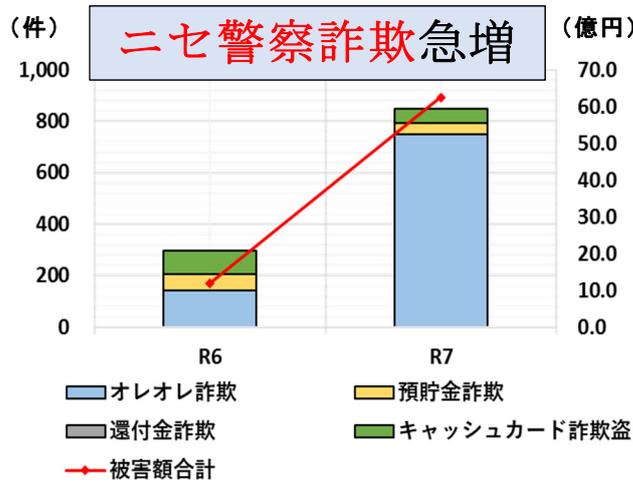


高齢者(65歳以上)が全体の51.1%

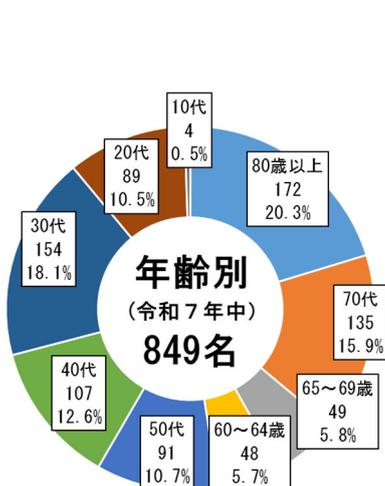
(2) 急増するニセ警察詐欺

- 令和7年中におけるニセ警察詐欺の認知件数は849件(+551件)、被害額は約62.6億円(+約50.6億円)
- 1件当たりの被害額は約737万円
- 交付形態別の被害割合をみると、特にインターネットバンキング利用による被害額が大幅に増加

図表9 ニセ警察詐欺の認知件数・被害額の推移

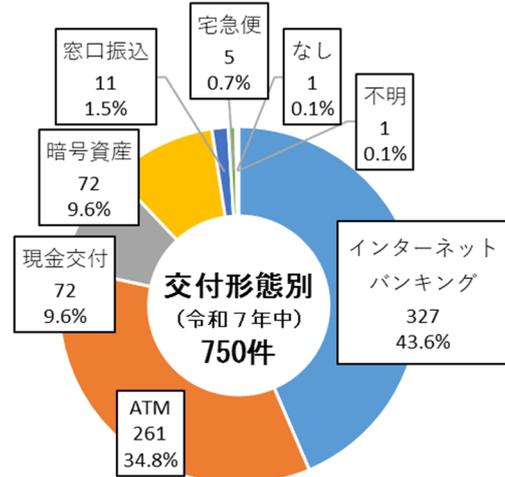


図表10 ニセ警察詐欺(全体)の年齢別割合



高齢者(65歳以上)が全体の41.9%

図表11 ニセ警察詐欺(オレオレ詐欺)の交付形態別割合

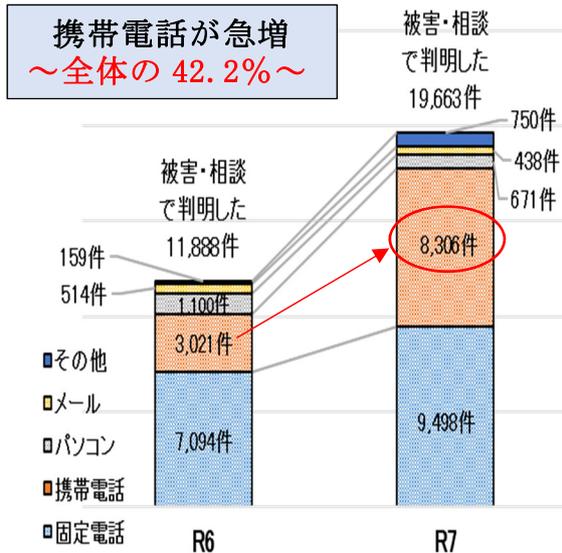


I B利用が全体の43.6%

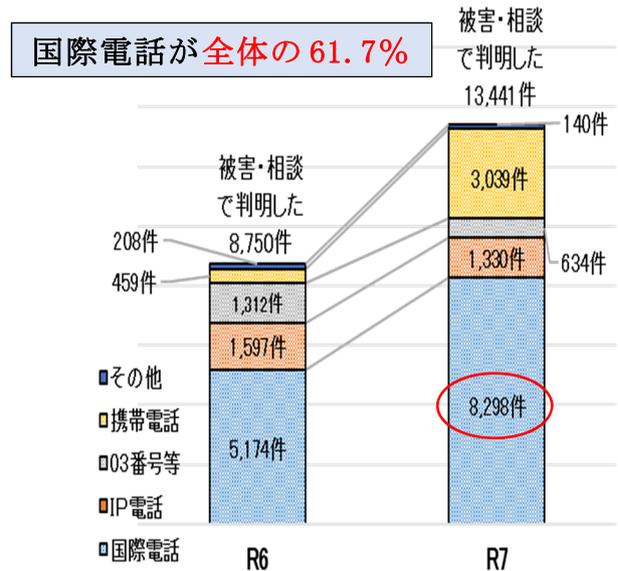
(3) 犯行ツール

- 犯人からのアプローチ状況の割合をみると、固定電話が 48.3%、携帯電話が 42.2%を占める
- 被害・相談で判明した犯行利用電話番号種別状況の割合をみると、国際電話が 61.7%、携帯電話が 22.6%を占める

図表 12 犯人からのアプローチ状況



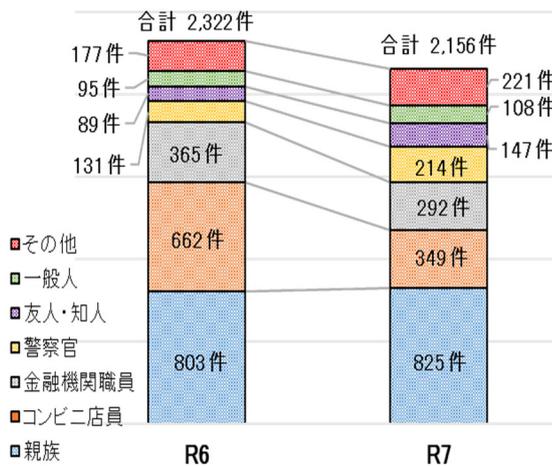
図表 13 被害・相談で判明した
犯行利用電話番号種別状況



(4) 水際阻止状況

令和 7 年中において、親族などの声掛けにより、被害を水際で阻止した件数は 2,156 件（-166 件）

図表 14 水際阻止状況



(5) 相談件数

- 令和7年中では17,694件（+7,251件）受理
- 自身で看破した件数（相談件数－水際阻止件数）の割合が増加

図表 15 相談の推移

	R3	R4	R5	R6	R7	増減	増減率
相談件数	3,976	5,028	7,633	10,443	17,694	7,251	69.4%

(6) 検挙状況

令和7年中では、216件98名を検挙

検挙件数・人員の増加

図表 16 特殊詐欺被疑者検挙人員の推移

	R3	R4	R5	R6	R7	増減	増減率
検挙件数	211	148	192	207	216	9	4.3%
検挙人員	80	48	77	64	98	34	53.1%

2 SNS型投資・ロマンス詐欺の認知状況

(1) 情勢全般

- 令和7年中におけるSNS型投資・ロマンス詐欺の認知件数は1,271件(+357件)、被害額は約143.1億円(+37.2億円)
- 1件当たりの被害額は約1,126万円(-33万円)
- 手口別の認知件数と被害額では、SNS型投資詐欺が大幅に増加
- 交付形態別の被害割合をみると、特にインターネットバンキング利用による被害額が大幅に増加

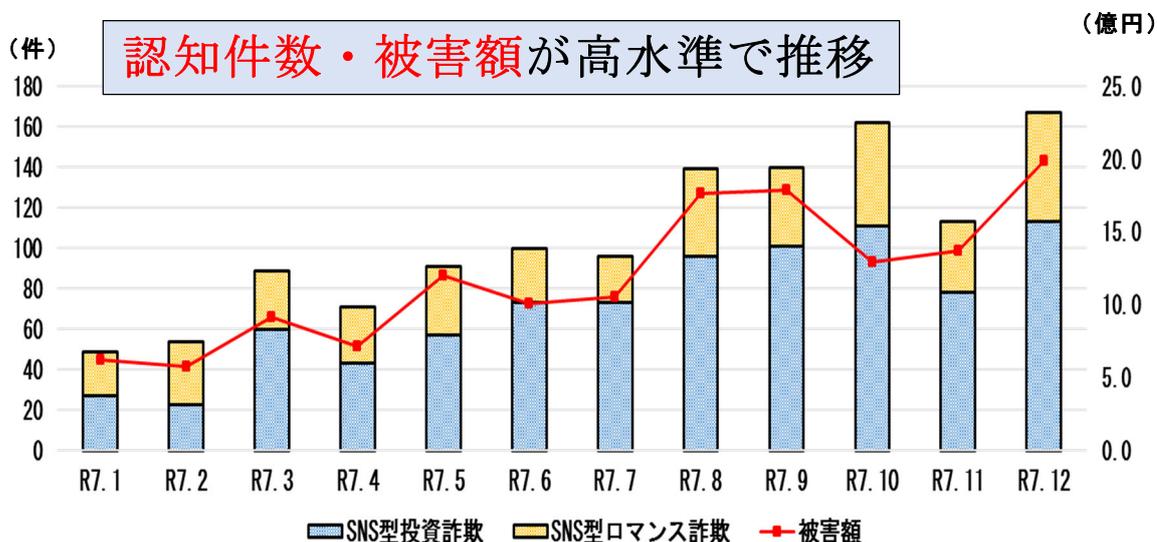
図表17 SNS型投資・ロマンス詐欺の認知件数・被害額の推移（全国との比較）



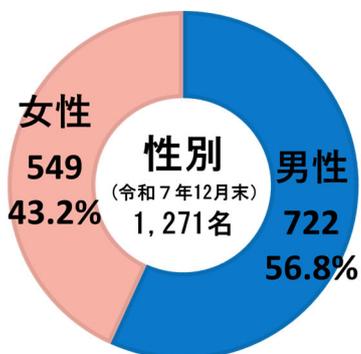
	R6	R7	増減	増減率
兵庫県	914	1,271	357	39.1%
全国	10,237	15,142	4,905	47.9%
割合	8.9%	8.4%		

	R6	R7	増減	増減率
兵庫県	105.9	143.1	37.2	35.1%
全国	1,271.9	1,827.0	555.0	43.6%
割合	8.3%	7.8%		

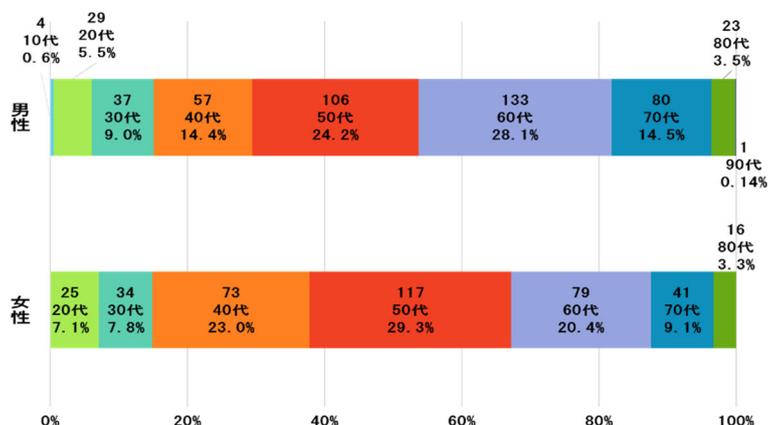
図表18 SNS型投資・ロマンス詐欺の認知件数・被害額の月別推移



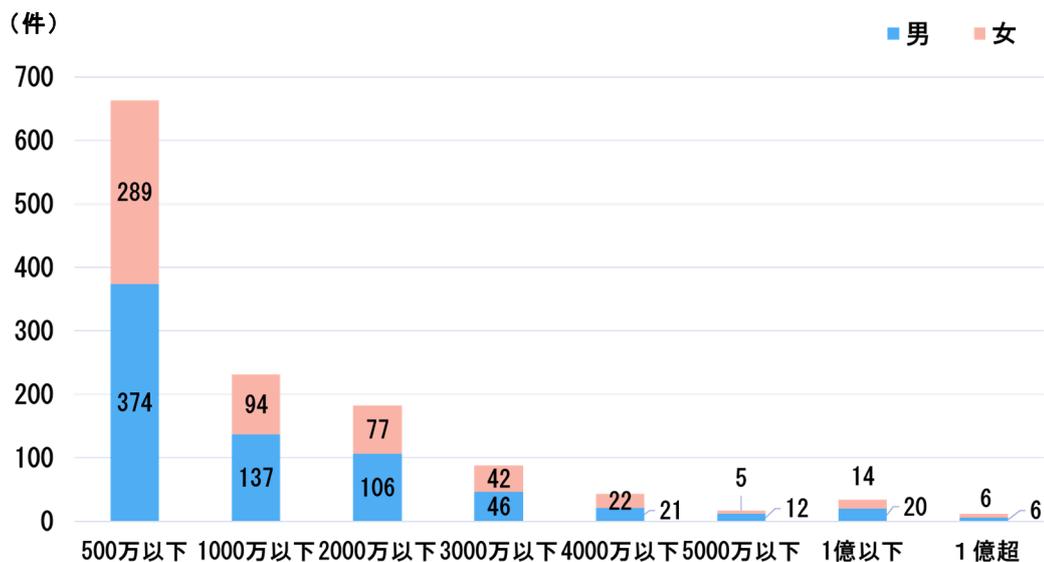
図表 19 性別の割合



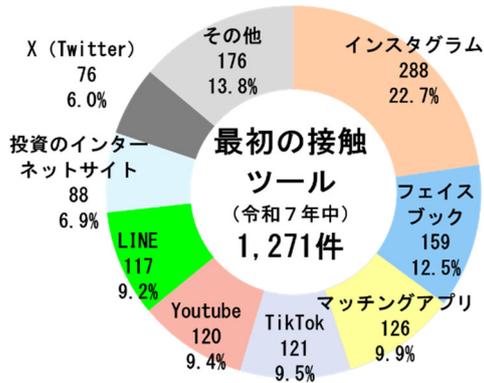
図表 20 年代別の割合



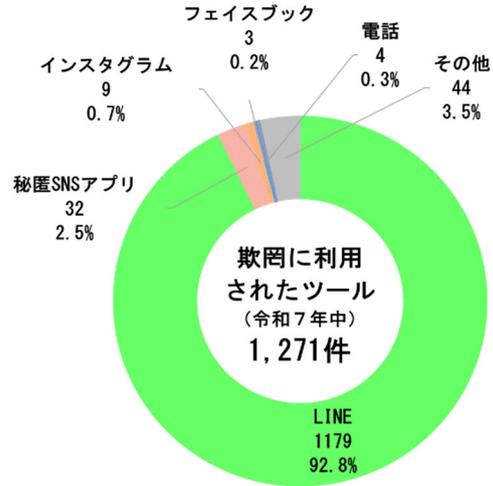
図表 21 被害額の分布



図表 22 最初の接触ツール

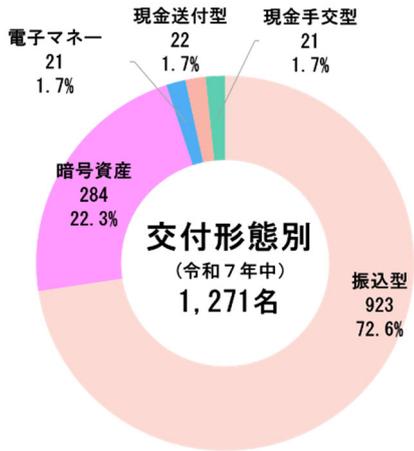


図表 23 欺罔に利用されたツール

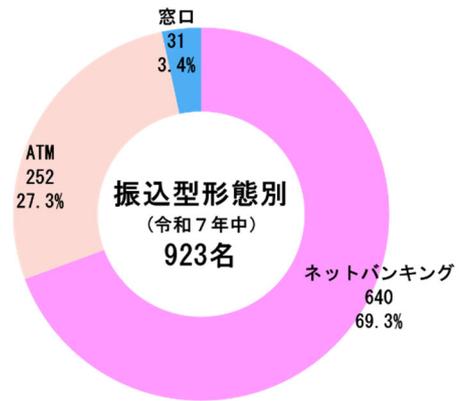


LINEに誘導する傾向

図表 24 交付形態の割合



図表 25 振込型形態の割合



振込型が7割を占める

(2) 検挙状況

令和7年中の検挙状況は、検挙件数33件、検挙人員18名

図表 26 検挙状況 (SNS型投資・ロマンス詐欺の検挙件数・検挙人員)

		R6	R7	増減	増減率
SNS型投資詐欺	検挙件数	5	12	7	140.0%
	検挙人員	3	6	3	100.0%
SNS型ロマンス詐欺	検挙件数	19	21	2	10.5%
	検挙人員	5	12	7	140.0%
総計	検挙件数	24	33	9	37.5%
	検挙人員	8	18	10	125.0%